

5 世 帯

(1) 世帯数及び世帯人員

○更に縮小する世帯規模

平成 17 年の総世帯数は 71 万 3452 世帯で、そのうち一般世帯数は 71 万 166 世帯、その世帯人員は 207 万 2349 人で、総人口の 98.3%を占めている。また一般世帯の 1 世帯当たり人員（世帯規模）は 2.92 人で、全国平均（2.55 人）に比べ 0.37 人多くなっており、全国順位では 6 位と高く、本県は世帯規模が大きい県となっている。

一般世帯について平成 12 年と比べると、世帯数は 3 万 2130 世帯（4.7%）増加しているが、世帯人員は 8370 人（0.4%）の減少となった。このため、世帯規模は、0.15 人減少した。この世帯規模の縮小傾向は昭和 30 年以降続いており、その縮小幅は平成 2 年以降 0.16 人前後となっている。世帯規模が縮小した原因は、単独世帯、夫婦のみの世帯や 3 人以下の小家族世帯が増加したことによる。

表 5-1 世帯数及び世帯人員の推移

	総世帯数	一般世帯数			施設等の世帯			全国の一般世帯	
		世帯数	世帯人員	1 世帯当たり人員	世帯数	世帯人員	1 世帯当たり人員	世帯数	1 世帯当たり人員
昭和 50 年	509,185	507,886	1,846,297	3.64	1,174	21,479	18.3	33,595,728	3.28
55 年	539,740	538,271	1,940,386	3.60	1,396	19,630	14.1	35,823,609	3.22
60 年	567,946	566,089	2,006,889	3.55	1,789	21,535	12.0	37,979,984	3.14
平成 2 年	602,906	601,015	2,043,542	3.40	1,128	22,050	19.5	40,670,475	2.99
7 年	645,341	643,531	2,077,562	3.23	1,743	22,674	13.0	43,899,923	2.82
12 年	680,317	678,036	2,080,719	3.07	1,744	26,282	15.1	46,782,383	2.67
17 年	713,452	710,166	2,072,349	2.92	1,896	33,203	17.5	49,062,530	2.55
増加数（人）									
昭和 50～55 年	30,555	30,385	94,089	△0.04	222	△1,849	△4.2	2,227,881	△0.06
55～60 年	28,206	27,818	66,503	△0.05	393	1,905	△2.1	2,156,375	△0.08
60～2 年	34,960	34,926	36,653	△0.15	△661	515	7.5	2,690,491	△0.15
平成 2～7 年	42,435	42,516	34,020	△0.17	615	624	△6.5	3,229,448	△0.17
7～12 年	34,976	34,505	3,157	△0.16	1	3,608	2.1	2,882,460	△0.15
12～17 年	33,135	32,130	△8,370	△0.15	152	6,921	2.4	2,280,147	△0.12
増加率（%）									
昭和 50～55 年	6.0	6.0	5.1	-	18.9	△8.6	-	6.6	-
55～60 年	5.2	5.2	3.4	-	28.2	9.7	-	6.0	-
60～2 年	6.2	6.2	1.8	-	△36.9	2.4	-	7.1	-
平成 2～7 年	7.0	7.1	1.7	-	54.5	2.8	-	7.9	-
7～12 年	5.4	5.4	0.2	-	0.1	15.9	-	6.6	-
12～17 年	4.9	4.7	△0.4	-	8.7	26.3	-	4.9	-
注）総世帯数には、世帯の種類「不詳」を含む。									
平成 17 年の全国の総世帯数は、49,566,305 世帯。									

市町村別に一般世帯数の対平成12年増減率をみると、39市町村で増加しており、白川村が26.9%（工事関係者による増）で特に高く、以下、可児市12.6%、輪之内町12.6%、羽島市12.0%、柳津町10.9%、美濃加茂市10.2%が10%を超えている。一方、飛騨市△3.5%、東白川村△3.3%、坂祝町△2.7%、七宗町△1.7%、白川町△1.3%、揖斐川町△1.1%、関ヶ原町△0.8%など7市町村で減少している。

世帯の増加率と人口増加率の関係をみると、すべての市町村において、世帯の増加率が人口増加率を上回っている。この結果、世帯規模の縮小が一層進んでいることがわかる。

1世帯当たり人員をみると、輪之内町の3.70人が最も多く、以下、海津市3.46人、養老町3.43人、上石津町3.43人、大野町3.39人、池田町3.37人、富加町3.37人と続いている。逆に最も少ないのは白川村の2.54人で、以下、岐阜市2.64人、柳津町2.68人、坂祝町2.74人など18市町村が2人台となっている。平成12年と比べると、すべての市町村で減少している。

図5-1 人口増減率と一般世帯増減率（平成12～17年）

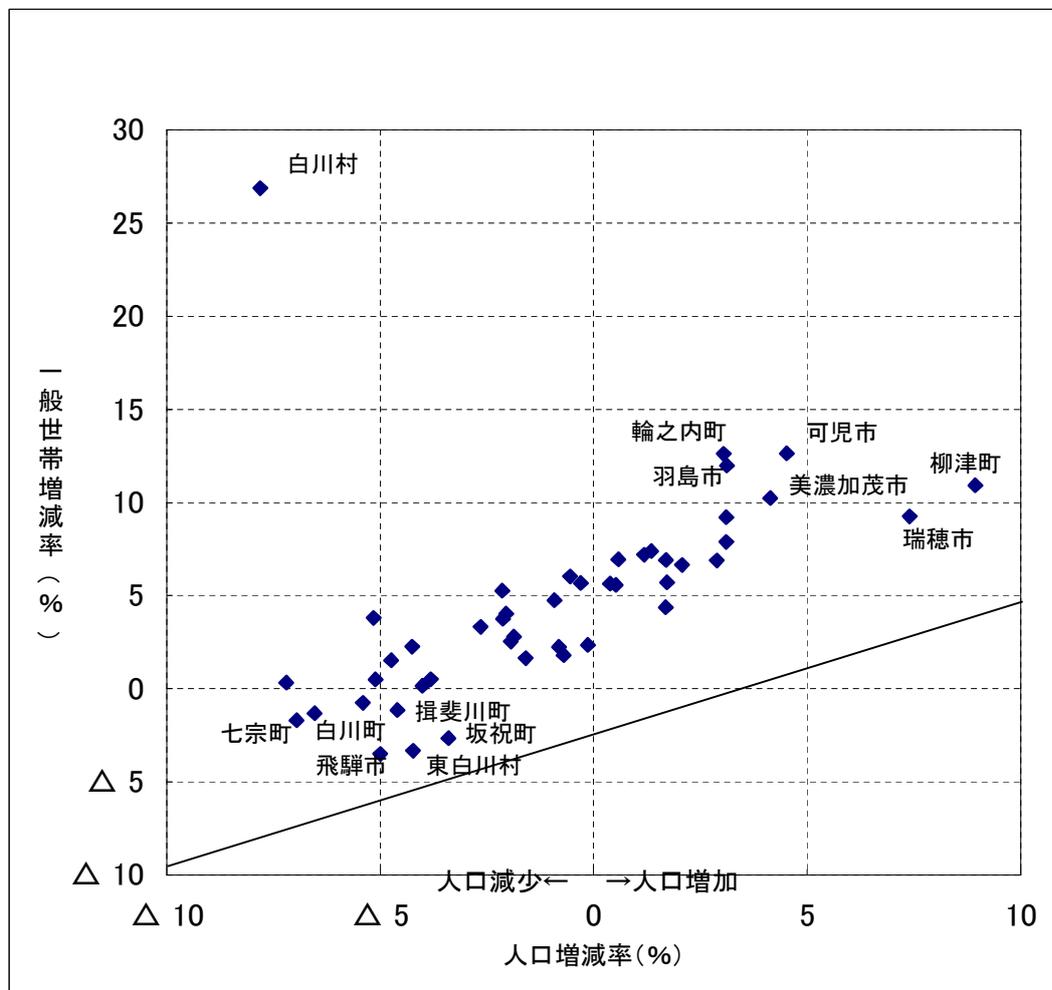
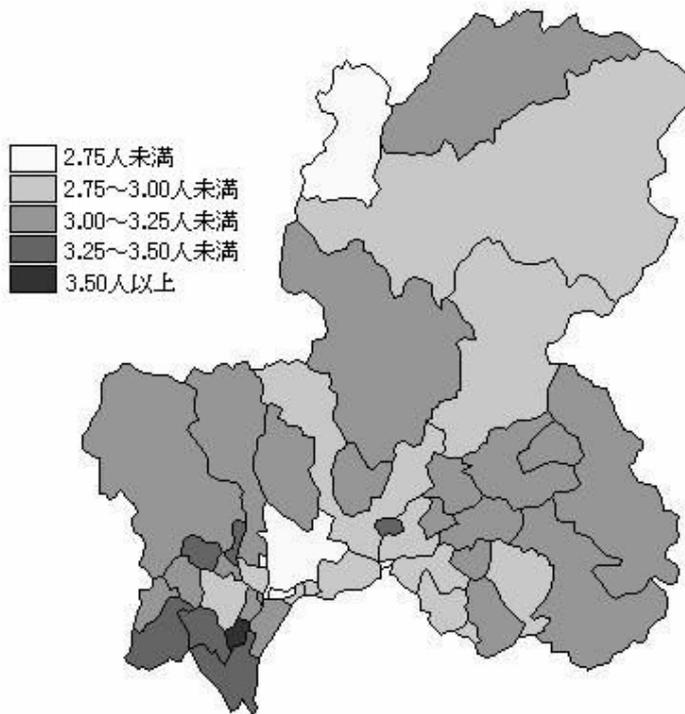


図5-2 一般世帯における1世帯当たり人員（平成17年）



○3人以下の小規模世帯が増加

平成12～17年の一般世帯数の増加率を世帯人員別にみると、1人世帯が13.7%増、2人世帯が13.6%増、3人世帯が5.5%増、4人世帯が0.7%増と、4人以下の各世帯で増加しているのに対し、5人以上の各世帯では減少している。

また、一般世帯に占める割合をみると、2人世帯が18万1164世帯（25.5%）で最も多く、一般世帯総数の4分の1を占めている。以下、1人世帯（21.4%）、3人世帯（19.6%）、4人世帯（17.7%）と続き、4人以下世帯で一般世帯総数の84.2%を占めている。平成12年と比べると、1人から3人の各世帯人員で上昇し、一方4人以上の各世帯人員で低下または横ばいとなっており、世帯規模の縮小が進んでいる。

全国平均と比べると、1人世帯及び2人世帯では下回っており、3人以上の各世帯では上回っている。

図5-3 一般世帯数の世帯人員別割合

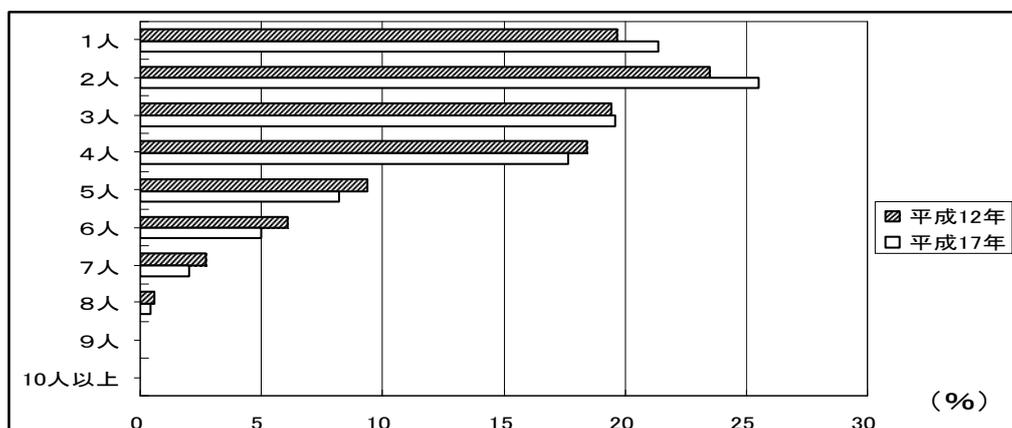


表5-2 世帯人員別一般世帯数

世帯人員	一般世帯数			世帯人員別割合 (%)				増加率 (%)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年	全国17年	7~12年	12~17年	全国12~17年
総数	643,531	678,036	710,166	100.0	100.0	100.0	100.0	5.4	4.7	4.9
1人	119,047	133,868	152,172	18.5	19.7	21.4	29.5	12.4	13.7	12.0
2人	134,304	159,526	181,164	20.9	23.5	25.5	26.5	18.8	13.6	10.9
3人	119,677	131,738	138,942	18.6	19.4	19.6	18.7	10.1	5.5	4.4
4人	128,336	124,840	125,709	19.9	18.4	17.7	15.7	△2.7	0.7	△2.7
5人	68,377	63,699	58,472	10.6	9.4	8.2	5.8	△6.8	△8.2	△10.1
6人	47,309	41,651	35,198	7.4	6.1	5.0	2.5	△12.0	△15.5	△16.6
7人	21,256	18,010	14,524	3.3	2.7	2.0	1.0	△15.3	△19.4	△21.4
8人	4,337	3,864	3,182	0.7	0.6	0.4	0.2	△10.9	△17.7	△16.7
9人	687	659	604	0.1	0.1	0.1	0.1	△4.1	△8.3	△7.9
10人以上	201	181	199	0.0	0.0	0.0	0.0	△10.0	9.9	4.7

○増加する社会施設の入所者

施設等の世帯人員は3万3203人で、総人口の1.6%を占めており、そのうち社会施設の入所者が1万6666人と最も多く、次に病院・療養所の入院者が9455人となっている。

この社会施設の入所者は、施設の整備が進むとともに、平成2～7年が24.3%増、平成7～12年が44.4%増、そして平成12～17年が74.2%増と大きく増加している。また人数は平成12年から17年の5年間に7100人増加している。増加の原因は、主に老人ホーム、グループホームなどの高齢者向け施設入所者の増加と考えられる。

表5-3 施設等の世帯数及び世帯人員

種類	世帯数			世帯人員			世帯人員の増加率 (%)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年	2~7年	7~12年	12~17年
総数	1,743	1,744	1,896	22,674	26,282	33,203	2.8	15.9	26.3
寮・寄宿舎の学生・生徒	147	163	158	4,412	3,587	3,731	△16.1	△18.7	4.0
病院・療養所の入院者	243	257	236	8,664	10,147	9,455	△4.3	17.1	△6.8
社会施設の入所者	165	239	547	6,623	9,566	16,666	24.3	44.4	74.2
自衛隊営舎内居住者	17	11	10	757	692	596	4.3	△8.6	△13.9
矯正施設の入所者	13	13	14	972	1,168	1,768	△9.3	20.2	51.4
その他	1,158	1,061	931	1,246	1,122	987	106.3	△10.0	△12.0

注) 世帯の定義は、「第3章 2 国勢調査で用いられる用語の解説」を参照のこと。

(2) 世帯の家族類型

○「夫婦のみの世帯」と「単独世帯」の割合は拡大傾向

平成17年における一般世帯数(71万166世帯)のうち、世帯主と親族関係にある世帯員がいる親族世帯は55万5389世帯(一般世帯数の78.2%)、単独世帯は15万2172世帯(同21.4%)となっている。

親族世帯のうち核家族世帯は40万7813世帯(一般世帯数の57.4%)で、このうち「夫婦と子どもから成る世帯」は21万5990世帯(同30.4%)、「夫婦のみの世帯」は13万9108世帯(同19.6%)、「ひとり親と子どもから成る世帯」は5万2715世帯(同7.4%)となっている。また、核家族世帯以外の「その他の親族世帯」が14万7576世帯(同20.8%)となっている。

家族類型別一般世帯数の増減率の推移をみると、核家族世帯の増加率は、平成2～7年までは一般世帯数の増加率より低くなっていたが、7～12年から核家族世帯の増加率が一般世帯の増加率を上回り、平成12～17年も核家族世帯が6.0%増、一般世帯が4.7%増で引き続き上回っている。次に、核家族世帯のうち「夫婦のみの世帯」の増加率は、平成2～7年まで20%を越える高い状況が続いていたが、平成12～17年は12.0%増となり、低下傾向にある。一方、「ひとり親と子どもから成る世帯」は15.3%増で、15%台の増加が続いている。また「夫婦と子どもから成る世帯」の増減率は、平成2～7年は0.5%減、7～12年が0.2%増で今回は0.0%でほぼ同率となり、横ばい傾向が続いている。単独世帯については、平成2～7年までは20%前後の高い増加率となっていたが、7～12年は12.4%増、12～17年は13.7%増に止まっている。

一般世帯の家族類型別割合の推移をみると「核家族世帯」は、平成17年は12年に比べ、0.7ポイントの上昇となった。近年は小幅ながら拡大傾向が続いている。核家族世帯のうち「夫婦と子どもから成る世帯」の割合は縮小傾向にある。一方「夫婦のみの世帯」と「ひとり親と子どもから成る世帯」の割合は拡大傾向にある。平成17年の核家族世帯割合の上昇の要因は、夫婦のみの世帯割合の上昇によるものが大きい。また、単独世帯の割合は年々拡大して平成17年は21.4%となった。(なお、「夫婦のみの世帯」のうち「65歳以上の親族のいる夫婦のみの世帯」の割合は、平成7年が40.3%、12年が45.9%そして17年は51.7%と拡大している。夫婦のみの世帯の約半数は65歳以上親族のいる世帯となっている。単独世帯も高齢者の割合は、平成7年が21.2%、12年が25.8%そして17年は29.4%と拡大しており、人口の高齢化を反映した結果となっている。)

図5-4 一般世帯の家族類型別割合の推移

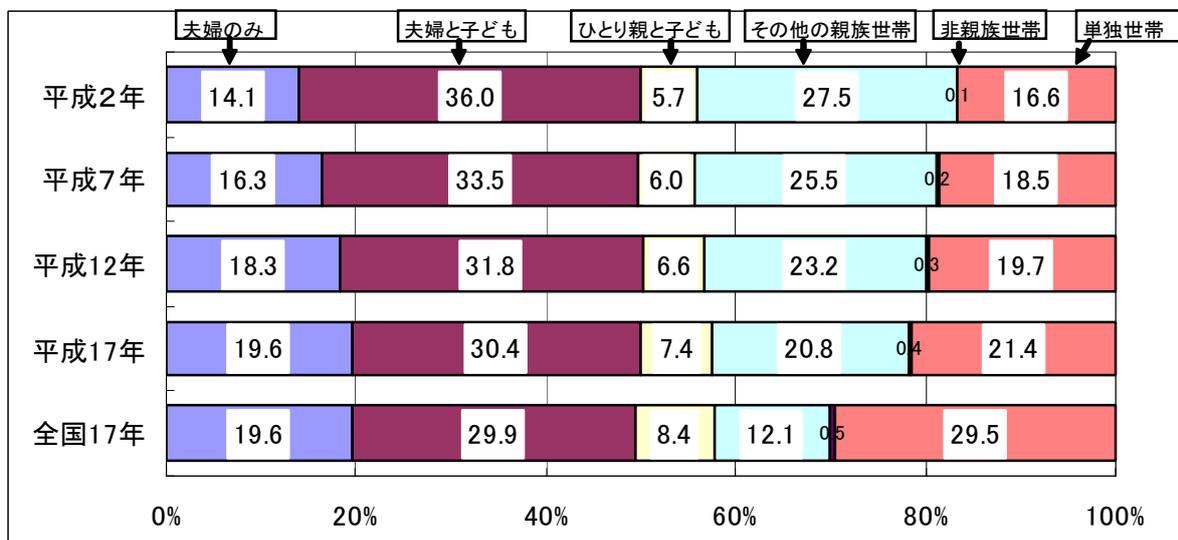


表5-4 世帯の家族類型別一般世帯数及び1世帯当たり親族人員

世帯の家族類型	一般世帯数				家族類型別割合 (%)				全国平成17年
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	
総数	601,015	643,531	678,036	710,166	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 親族世帯	500,593	523,196	542,203	555,389	83.3	81.3	80.0	78.2	70.0
I 核家族世帯	335,499	358,774	384,697	407,813	55.8	55.8	56.7	57.4	57.9
夫婦のみ	84,846	104,762	124,157	139,108	14.1	16.3	18.3	19.6	19.6
夫婦と子ども	216,612	215,445	215,898	215,990	36.0	33.5	31.8	30.4	29.9
男親と子ども	5,587	6,398	7,447	8,627	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3
女親と子ども	28,454	32,169	37,195	44,088	4.7	5.0	5.5	6.2	7.1
II その他の親族世帯	165,094	164,422	157,506	147,576	27.5	25.5	23.2	20.8	12.1
夫婦と両親	5,844	6,403	6,766	6,932	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5
夫婦とひとり親	10,704	12,898	14,889	16,597	1.8	2.0	2.2	2.3	1.5
夫婦と子どもと両親	56,810	55,237	48,748	40,585	9.5	8.6	7.2	5.7	2.4
夫婦と子どもと親と他の親族	56,511	54,729	51,543	46,767	9.4	8.5	7.6	6.6	3.7
夫婦と他の親族	1,638	1,797	1,847	2,052	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
夫婦と子どもと他の親族	5,830	6,129	7,269	8,309	1.0	1.0	1.1	1.2	0.8
夫婦と親と他の親族	3,500	3,431	3,161	2,836	0.6	0.5	0.5	0.4	0.2
夫婦と子どもと親と他の親族	15,808	14,415	12,667	11,310	2.6	2.2	1.9	1.6	0.8
兄弟姉妹のみ	1,816	2,165	2,386	2,734	0.3	0.3	0.4	0.4	0.6
他に分類されない親族	6,633	7,218	8,230	9,454	1.1	1.1	1.2	1.3	1.2
B 非親族世帯	783	1,288	1,965	2,605	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
C 単身世帯	99,639	119,047	133,868	152,172	16.6	18.5	19.7	21.4	29.5
(別掲) 父子世帯	1,345	1,103	1,064	1,122	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
母子世帯	6,934	6,211	7,528	9,465	1.2	1.0	1.1	1.3	1.3
三世帯世帯	129,129	124,381	127,266	114,832	21.5	19.3	18.8	16.2	8.5

注) 三世帯世帯は、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいう。なお平成7年までは「夫婦と子どもと両親」と「夫婦と子どもとひとり親」と「夫婦と子どもと親と他の親族」を合計して算出したものである。

世帯の家族類型	増減数			増減率 (%)			1世帯当たり親族人員 (平成17年)		
	2~7年	7~12年	12~17年	2~7年	7~12年	12~17年	全国12~17年	県 全 国	
総数	42,516	34,505	32,130	7.1	5.4	4.7	4.9	2.91	2.54
A 親族世帯	22,603	19,007	13,186	4.5	3.6	2.4	2.0	3.44	3.20
I 核家族世帯	23,275	25,923	23,116	6.9	7.2	6.0	3.9	2.92	2.91
夫婦のみ	19,916	19,395	14,951	23.5	18.5	12.0	9.1	2.00	2.00
夫婦と子ども	△1,167	453	92	△0.5	0.2	0.0	△1.8	3.65	3.65
男親と子ども	811	1,049	1,180	14.5	16.4	15.8	13.8	2.32	2.34
女親と子ども	3,715	5,026	6,893	13.1	15.6	18.5	15.1	2.38	2.40
II その他の親族世帯	△672	△6,916	△9,930	△0.4	△4.2	△6.3	△6.4	4.89	4.59
夫婦と両親	559	363	166	9.6	5.7	2.5	3.5	4.00	4.00
夫婦とひとり親	2,194	1,991	1,708	20.5	15.4	11.5	5.7	3.00	3.00
夫婦と子どもと両親	△1,573	△6,489	△8,163	△2.8	△11.7	△16.7	△18.1	5.99	5.96
夫婦と子どもと親と他の親族	△1,782	△3,186	△4,776	△3.2	△5.8	△9.3	△12.5	4.78	4.75
夫婦と他の親族	159	50	205	9.7	2.8	11.1	2.1	3.28	3.24
夫婦と子どもと他の親族	299	1,140	1,040	5.1	18.6	14.3	11.3	4.73	4.71
夫婦と親と他の親族	△69	△270	△325	△2.0	△7.9	△10.3	△5.2	5.49	5.31
夫婦と子どもと親と他の親族	△1,393	△1,748	△1,357	△8.8	△12.1	△10.7	△10.1	6.82	6.80
兄弟姉妹のみ	349	221	348	19.2	10.2	14.6	6.0	2.09	2.10
他に分類されない親族	585	1,012	1,224	8.8	14.0	14.9	11.8	3.46	3.38
B 非親族世帯	505	677	640	64.5	52.6	32.6	39.8	1.00	1.00
C 単身世帯	19,408	14,821	18,304	19.5	12.4	13.7	12.0	1.00	1.00
(別掲) 父子世帯	△242	△39	58	△18.0	△3.5	5.5	5.6	2.64	2.59
母子世帯	△723	1,317	1,937	△10.4	21.2	25.7	19.7	2.67	2.66
三世帯世帯	△4,748	2,885	△12,434	△3.7	2.3	△9.8	△10.1	-	-

一方、「その他の親族世帯」が減少する中で注目されるのは、「夫婦と子どもと両親」と「夫婦と子どもとひとり親」の減少と「夫婦と両親」「夫婦とひとり親」の増加である。この増加は、減少する2つの世帯からの変化と考えられる。核家族化、少子化により、世帯主の親・子・孫の三世帯世帯から、世帯主の親・子の世帯へ変化したのが主な要因と考えられる。

全国の割合（「核家族世帯」57.9%、「その他の親族世帯」12.1%、「単独世帯」29.5%）と比べると、本県は「単独世帯」が低く、三世帯世帯などの「その他の親族世帯」が高くなっており、全国順位では、単独世帯割合は46位と2番目に少なくなっている。三世帯以上の世帯は11万4832世帯で、一般世帯総数に占める割合は16.2%と全国の8.6%を大きく上回っている。

平成17年は、人口は減少となったが、世帯数は3万2130世帯増加した。この世帯の増加要因は「夫婦のみの世帯」と「単独世帯」の増加である。「夫婦のみの世帯」は平成12年に比べ1万4951世帯増加し、このうち65歳以上の親族のいる世帯が1万4895世帯増で夫婦のみ世帯全体の増加数のほとんどを占めている。また、「単独世帯」は全体で1万8304世帯増加し、このうち高齢単独世帯が1万237世帯増で、単独世帯全体の増加数の55.9%を占めている。高齢化の進行を反映して、増加数全体に占める割合も大きくなっている。

○高齢者のいる世帯でも夫婦のみの世帯や単独世帯の割合が拡大

平成17年の65歳以上親族のいる一般世帯数（以下「高齢親族世帯」という。）は29万3189世帯で、平成12年に比べ3万2389世帯（12.4%）増となっている。高齢親族のいる一般世帯は、高齢化の進行を反映して、その増加率は、平成7～12年、12～17年とも一般世帯の増加率を大きく上回っており、一般世帯に占める割合は、平成7年の35.1%から平成17年には41.3%と拡大している。（全国の平成17年の割合35.1%と比べ、本県は6.2ポイント上回っており、高齢親族世帯の割合が高くなっている。）

表5-5 世帯の家族類型別65歳以上親族のいる一般世帯数

世帯の家族類型	65歳以上親族のいる一般世帯			家族類型別割合（%）				増減率（%）	
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7	平成12	平成17	全国17	7～12年	12～17年
総数	226,011	260,800	293,189	100.0	100.0	100.0	100.0	15.4	12.4
A 親族世帯	200,573	226,063	248,131	88.7	86.7	84.6	77.4	12.7	9.8
I 核家族世帯	68,987	94,340	122,200	30.5	36.2	41.7	48.9	36.8	29.5
夫婦のみ	42,266	57,042	71,937	18.7	21.9	24.5	27.8	35.0	26.1
うち夫婦ともに65歳以上	27,346	39,604	52,866	12.1	15.2	18.0	20.8	44.8	33.5
夫婦と子ども	14,994	21,537	29,395	6.6	8.3	10.0	11.9	43.6	36.5
ひとり親と子ども	11,727	15,761	20,868	5.2	6.0	7.1	9.3	34.4	32.4
II その他の親族世帯	131,586	131,723	125,931	58.2	50.5	43.0	28.5	0.1	△4.4
うち三世帯世帯	101,328	96,429	99,495	44.8	37.0	33.9	21.2	△4.8	3.2
B 非親族世帯	176	243	327	0.1	0.1	0.1	0.2	38.1	34.6
C 単独世帯	25,262	34,494	44,731	11.2	13.2	15.3	22.5	36.5	29.7
うち男	5,184	7,909	11,235	2.3	3.0	3.8	6.1	52.6	42.1
うち女	20,078	26,585	33,496	8.9	10.2	11.4	16.4	32.4	26.0
一般世帯総数に占める65歳以上親族のいる一般世帯の割合	-	-	-	35.1	38.5	41.3	35.0	-	-

核家族世帯のうち「夫婦のみの世帯」は7万1937世帯で高齢親族世帯の24.5%を占め、このうち「夫婦ともに65歳以上の世帯」が5万2866世帯となっている。

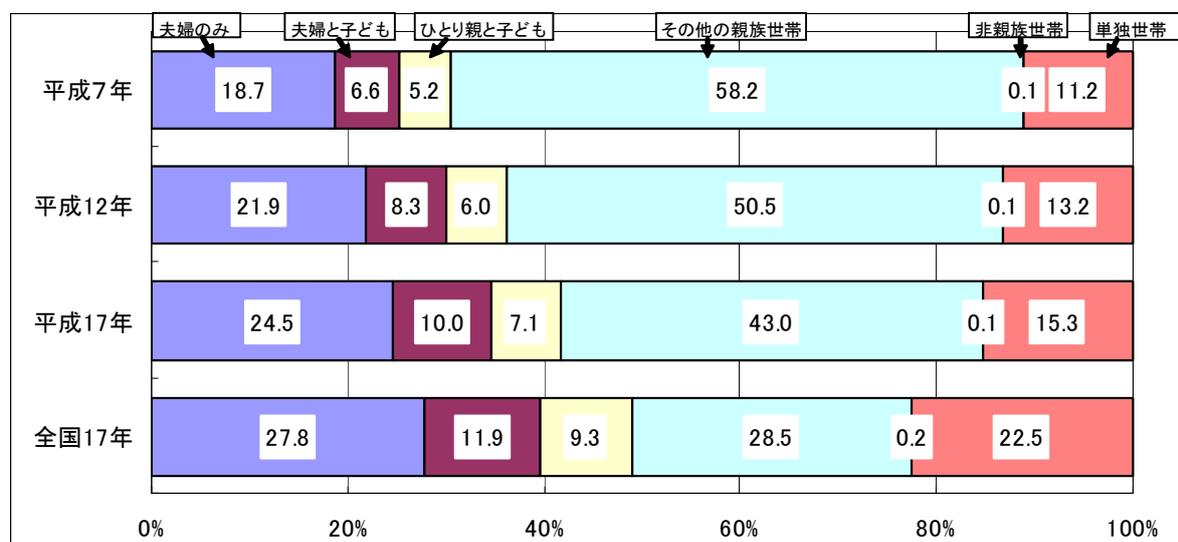
また、高齢者が一人で住んでいる単独世帯（高齢単身世帯）は4万4731世帯で高齢親族世帯の15.3%を占めている。

これらを全国の割合と比べると、「核家族世帯」は全国（48.9%）を7.2ポイント下回っているのに対し、「三世帯世帯」は全国（21.2%）を12.7ポイント上回っている。また「夫婦のみの世帯」は3.3ポイント、「高齢単身世帯」は7.2ポイントそれぞれ下回っており、全国順位でも核家族世帯割合は36位、単独世帯割合は42位と、本県の高齢者は全国平均に比べ他世代等と同居している者の割合が高くなっている。

しかし、高齢親族世帯の家族類型割合の推移をみると、「三世帯世帯」は縮小傾向、「核家族世帯」及び「単独世帯」は拡大傾向にある。核家族世帯の中では「夫婦のみの世帯」の上昇が大きくなっている。この「夫婦のみの世帯」は、将来「単独世帯」へ変化することになり、単独世帯の上昇につながる。また「夫婦と子ども世帯」と「ひとり親と子ども世帯」も上昇している。これは未婚の子どもとの同居が増えているためとみられる。

一方、増加率をみると「核家族世帯」は平成12年に比べ29.5%増で、うち「夫婦のみの世帯」は26.1%増、「夫婦と子ども世帯」は36.5%増そして「ひとり親と子ども世帯」は32.4%増となっている。また「単独世帯」は29.7%増と、それぞれ高い増加率を示している。高齢親族のいる世帯の核家族化・単身化が進んでいる。

図5-5 65歳以上親族のいる一般世帯における家族類型別世帯割合の推移



○高い増加率を示す「高齢夫婦世帯」「高齢単身世帯」

平成17年の「高齢夫婦世帯」（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組の一般世帯で他に世帯員がないもの。）は6万8033世帯で、うち夫婦ともに65歳以上の高齢夫婦世帯は5万2827世帯である。これを平成12年と比べると、高齢夫婦世帯は1万5229世帯（28.8%）増、夫婦ともに65歳以上の高齢夫婦世帯は1万3274世帯（33.6%）増と高齢単身世帯と同様に高い増加率となっている。

また、高齢夫婦世帯のうち夫婦ともに65歳以上の割合は、平成7年の70.8%から平成17年の77.6%へと大きく上昇している。

高齢単身世帯を男女別にみると、女性（3万3496世帯）が男性（1万1235世帯）の約3.0倍と多くなっている。老年人口に占める割合は、男性が5.9%、女性が13.3%となっている。65歳以上の女性の7.5人に1人が単独世帯となっている。

表5-6 高齢単身世帯数及び高齢夫婦世帯数

	世帯数			平成7～12年		平成12～17年	
	平成7年	平成12年	平成17年	増加数	増加率%	増加数	増加率%
高齢単身世帯	25,262	34,494	44,731	9,232	36.5	10,237	29.7
65～74歳	14,908	18,937	22,070	4,029	27.0	3,133	16.5
75歳以上	10,354	15,557	22,661	5,203	50.3	7,104	45.7
男	5,184	7,909	11,235	2,725	52.6	3,326	42.1
女	20,078	26,585	33,496	6,507	32.4	6,911	26.0
高齢夫婦世帯	38,547	52,804	68,033	14,257	37.0	15,229	28.8
夫婦ともに65歳以上	27,291	39,553	52,827	12,262	44.9	13,274	33.6
夫婦ともに65歳以上の割合(%)	70.8	74.9	77.6	-	4.1	-	2.7
注：高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組の一般世帯（他に世帯員がないもの）をいう。							

○地域別では、岐阜地域の高齢親族世帯は核家族世帯や単独世帯割合が高い

地域別に一般世帯の家族類型の特徴をみると、岐阜地域は18歳未満親族のいる世帯の割合が低く、65歳以上親族のいる世帯の割合も最も低いが、65歳以上親族のいる世帯のうち夫婦のみや単独世帯の割合はともに最も高くなっている。

揖斐地域は18歳未満親族のいる世帯割合が最も高く、高齢親族世帯では夫婦のみの割合は最も低く、単独世帯の割合は3番目に低くなっている。

郡上地域については、65歳以上親族のいる世帯割合が最も高く、夫婦のみの世帯が2番目に高くなっている。

市町村別には、65歳以上親族のいる世帯の割合が高いのは、白川町72.5%、東白川村71.4%、七宗町70.2%が70%を越え、上石津町69.6%、八百津町61.8%、郡上市61.1%、飛騨市61.0%が60%以上となっている。これらの多くは老年人口割合の高い町村である。

一方、割合が低いのは、瑞穂市26.5%、柳津町27.6%、岐南町28.3%、北方町29.5%、坂祝町29.6%で、この5市町が30%未満となっており、岐阜市近郊の人口増加市町と工場労働者や学生の多い坂祝町で低くなっている。

また、18歳未満親族のいる世帯の割合が高いのは、輪之内町40.6%、池田町37.8%、大野町37.4%、海津市34.2%、養老町33.9%で、これらは西濃圏域にあり、世帯規模も大きい市町である。

表5-7 地域別の家族類型別世帯数と割合

	一般世帯 総数	親族世帯			非親族世帯	単独世帯	一般世帯総数に占める割合(%)			
		総数	核家族世帯	その他親族			親族世帯	核家族	その他	単独世帯
県計	710,166	555,389	407,813	147,576	2,605	152,172	78.2	57.4	20.8	21.4
岐阜圏域	283,878	213,943	166,898	47,045	1,408	68,527	75.4	58.8	16.6	24.1
岐阜地域	283,878	213,943	166,898	47,045	1,408	68,527	75.4	58.8	16.6	24.1
西濃圏域	124,766	100,801	70,509	30,292	365	23,600	80.8	56.5	24.3	18.9
大垣地域	102,862	82,035	58,029	24,006	332	20,495	79.8	56.4	23.3	19.9
揖斐地域	21,904	18,766	12,480	6,286	33	3,105	85.7	57.0	28.7	14.2
中濃圏域	128,614	102,811	74,042	28,769	363	25,440	79.9	57.6	22.4	19.8
関・美濃地域	38,636	30,191	21,511	8,680	71	8,374	78.1	55.7	22.5	21.7
郡上地域	14,759	12,112	7,260	4,852	26	2,621	82.1	49.2	32.9	17.8
可茂地域	75,219	60,508	45,271	15,237	266	14,445	80.4	60.2	20.3	19.2
東濃圏域	118,253	95,863	69,945	25,918	312	22,078	81.1	59.1	21.9	18.7
東濃西部地域	72,760	59,374	45,577	13,797	204	13,182	81.6	62.6	19.0	18.1
中津川・恵那地域	45,493	36,489	24,368	12,121	108	8,896	80.2	53.6	26.6	19.6
飛騨圏域	54,655	41,971	26,419	15,552	157	12,527	76.8	48.3	28.5	22.9
下呂地域	12,767	9,733	5,773	3,960	44	2,990	76.2	45.2	31.0	23.4
飛騨地域	41,888	32,238	20,646	11,592	113	9,537	77.0	49.3	27.7	22.8

注) 親族世帯とは、二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のいる世帯。(同居する住み込みの従業員、家事手伝いなどがある場合もここに含まれる。)

単独世帯とは、世帯員が一人の世帯。

非親族世帯とは、二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある者がいない世帯。

核家族世帯とは、「夫婦のみの世帯」「夫婦と子供から成る世帯」「ひとり親と子供から成る世帯」をいう。

表5-8 地域別の18歳未満親族のいる世帯数及び高齢親族のいる世帯数

	一般世帯 総数	18歳未満親族のいる世帯		65歳以上親族のいる世帯		対一般世帯総数割合%		対高齢親族世帯割合%	
		総数	夫婦のみ	単独世帯	総数	夫婦のみ	18歳未満親族のいる	65歳以上親族のいる	夫婦のみ
県計	710,166	211,477	293,189	71,937	44,731	29.8	41.3	24.5	15.3
岐阜圏域	283,878	82,142	103,895	27,294	18,183	28.9	36.6	26.3	17.5
岐阜地域	283,878	82,142	103,895	27,294	18,183	28.9	36.6	26.3	17.5
西濃圏域	124,766	39,643	53,053	11,781	7,138	31.8	42.5	22.2	13.5
大垣地域	102,862	32,128	42,535	9,500	5,761	31.2	41.4	22.3	13.5
揖斐地域	21,904	7,515	10,518	2,281	1,377	34.3	48.0	21.7	13.1
中濃圏域	128,614	38,688	54,067	13,256	7,049	30.1	42.0	24.5	13.0
関・美濃地域	38,636	11,471	16,098	3,779	2,078	29.7	41.7	23.5	12.9
郡上地域	14,759	4,445	9,020	1,992	1,225	30.1	61.1	22.1	13.6
可茂地域	75,219	22,772	28,949	7,485	3,746	30.3	38.5	25.9	12.9
東濃圏域	118,253	35,178	53,915	13,282	8,194	29.7	45.6	24.6	15.2
東濃西部地域	72,760	21,818	30,392	7,863	4,723	30.0	41.8	25.9	15.5
中津川・恵那地域	45,493	13,360	23,523	5,419	3,471	29.4	51.7	23.0	14.8
飛騨圏域	54,655	15,826	28,259	6,324	4,167	29.0	51.7	22.4	14.7
下呂地域	12,767	3,480	7,316	1,694	1,096	27.3	57.3	23.2	15.0
飛騨地域	41,888	12,346	20,943	4,630	3,071	29.5	50.0	22.1	14.7

注) 高齢親族世帯とは、65歳以上親族がいる世帯をいう。

65歳以上親族のいる世帯のうち「夫婦のみ」は、夫婦どちらかに65歳以上の親族がいる世帯で、他に世帯員がいる世帯も含む。

図5-6 一般世帯数に占める65歳以上親族のいる一般世帯の割合（平成17年）

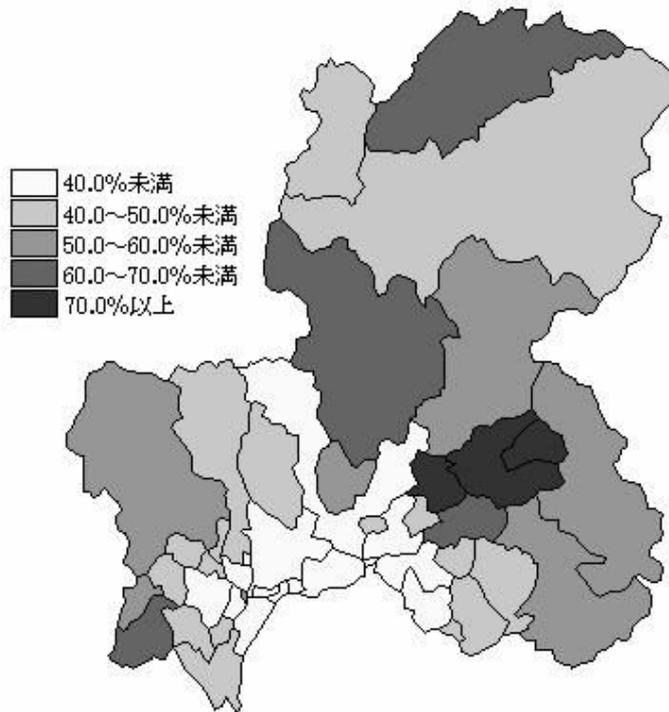
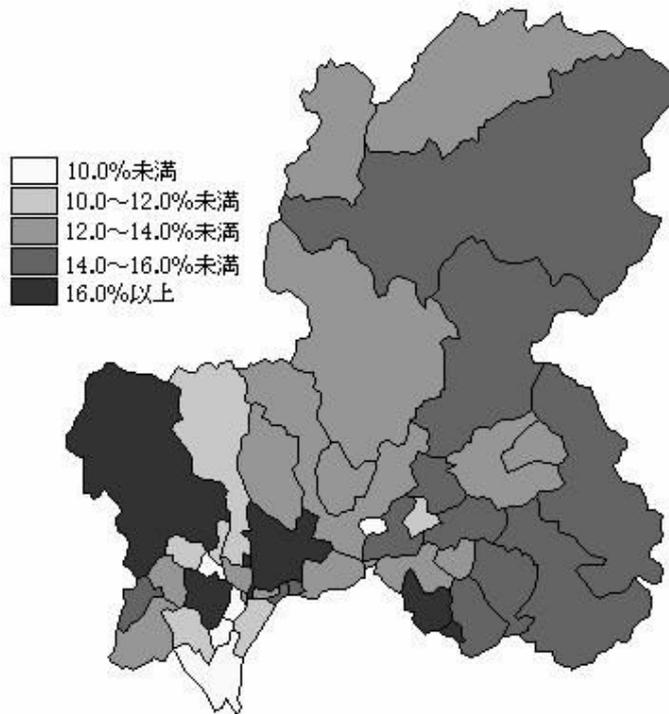


図5-7 65歳以上親族のいる一般世帯数に占める高齢単独世帯の割合（平成17年）



○男女差がある単独世帯の配偶関係別割合

単独世帯について配偶関係別割合をみると、男性は未婚が60.9%と圧倒的に多くなっているが、女性は未婚が38.3%、死別が41.3%と男女差が大きくなっている。

これを年齢階級別にみると、男性は、若年層では未婚の単身が多く、中年層では仕事の関係による単身赴任や離別が多く、高齢層では死別が多くなっている。女性は、若年層では男性と同様未婚の単身が多く、中年層では離別が多く、高年層では死別が多くなっている。

単独世帯の有配偶の年齢構成をみると、平成17年は、男性は55～59歳（第1次ベビーブーム世代）が1450人（割合17.0%）で最も多く、その前後の40～59歳で5030人（同59.0%）となっており、これらの多くは単身赴任と考えられる。女性は25～29歳が1099人（同23.1%）で最も多く、30～34歳（第2次ベビーブーム世代）が1012人（同21.3%）で、合わせて2111人（同44.4%）。このうち、間借り・下宿、会社などの独身寮の単身者は、1730人で、多くは複数でアパートの一室に居住したり、会社の事務所兼寮に住み込みで働いていると考えられる。

表5-9 一般世帯のうち単独世帯における年齢階級ごとの配偶関係別割合

区 分	未 婚 (%)			有配偶 (%)			死 別 (%)			離 別 (%)		
	平成 7年	12年	17年									
男	70.0	64.7	60.9	10.6	11.6	11.3	8.3	9.9	10.7	10.3	12.3	13.5
15～19歳	99.3	99.5	99.6	0.2	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
20～24歳	98.6	98.7	98.3	0.6	0.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.5
25～29歳	95.0	94.4	93.1	2.5	3.4	4.8	0.1	0.1	0.1	1.8	2.2	2.1
30～34歳	85.1	84.7	85.3	7.0	8.4	8.4	0.2	0.2	0.1	7.0	6.7	6.2
35～39歳	72.0	69.6	67.8	14.3	13.5	11.0	0.4	0.4	0.3	12.4	13.5	12.3
40～44歳	61.8	57.3	55.8	20.4	22.5	18.1	0.8	0.8	0.5	16.0	17.2	17.7
45～49歳	49.3	50.4	48.0	25.7	25.6	25.3	1.7	1.7	1.1	22.4	19.2	19.1
50～54歳	34.4	41.5	45.4	31.8	26.9	23.3	4.9	3.5	2.7	27.4	25.5	23.0
55～59歳	23.6	29.0	39.6	30.6	25.6	21.1	13.0	10.6	6.4	31.5	32.3	28.2
60～64歳	19.0	21.2	28.3	17.6	14.8	12.6	32.5	25.7	19.9	29.7	34.9	33.8
65～69歳	11.0	13.8	17.1	10.4	11.0	9.8	56.7	45.4	36.2	20.9	26.2	31.3
70～74歳	8.7	7.8	10.8	9.5	8.4	8.6	66.8	65.2	55.3	14.7	15.8	19.9
75歳以上	3.6	3.5	3.9	7.7	9.1	7.9	82.1	78.1	75.3	6.1	6.3	7.5
女	46.6	42.2	38.3	3.1	4.4	6.2	37.7	39.9	41.3	12.1	12.7	12.5
15～19歳	99.8	99.6	99.6	0.1	0.3	0.4	0.0	-	0.0	0.0	0.1	0.0
20～24歳	99.0	98.6	97.8	0.5	1.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2
25～29歳	93.8	89.0	81.8	3.3	8.7	16.9	0.1	0.1	0.0	2.4	2.2	1.3
30～34歳	84.3	81.6	73.8	4.6	1.8	21.3	0.4	0.5	0.3	9.5	7.2	4.6
35～39歳	73.3	71.6	69.6	6.7	8.7	11.4	1.2	1.5	0.5	17.8	15.9	11.2
40～44歳	57.0	60.8	61.3	6.8	7.3	7.2	3.5	2.9	2.3	31.8	26.6	21.8
45～49歳	42.7	40.7	43.0	9.9	11.4	10.1	9.2	7.5	6.7	37.5	38.7	33.1
50～54歳	31.1	27.7	29.1	9.4	11.4	12.9	21.9	18.3	15.2	36.9	41.0	39.0
55～59歳	22.3	21.0	21.9	6.6	7.1	9.1	41.4	36.9	28.8	28.6	33.6	37.2
60～64歳	17.8	16.2	16.6	3.7	3.8	4.4	58.6	56.2	49.7	19.4	22.4	27.1
65～69歳	15.9	13.8	12.4	2.5	2.6	2.7	67.7	67.8	66.3	13.4	14.8	17.0
70～74歳	9.8	11.3	10.0	1.9	2.2	1.9	78.4	76.5	76.5	9.6	9.2	10.3
75歳以上	4.9	5.8	6.9	1.2	1.4	1.8	89.6	86.5	84.9	4.0	5.5	5.6